

中高生から社会に向けた 14の提言

～今を生きる中高生から、大人へのメッセージ～

PROPOSAL
TO
SOCIETY

2016

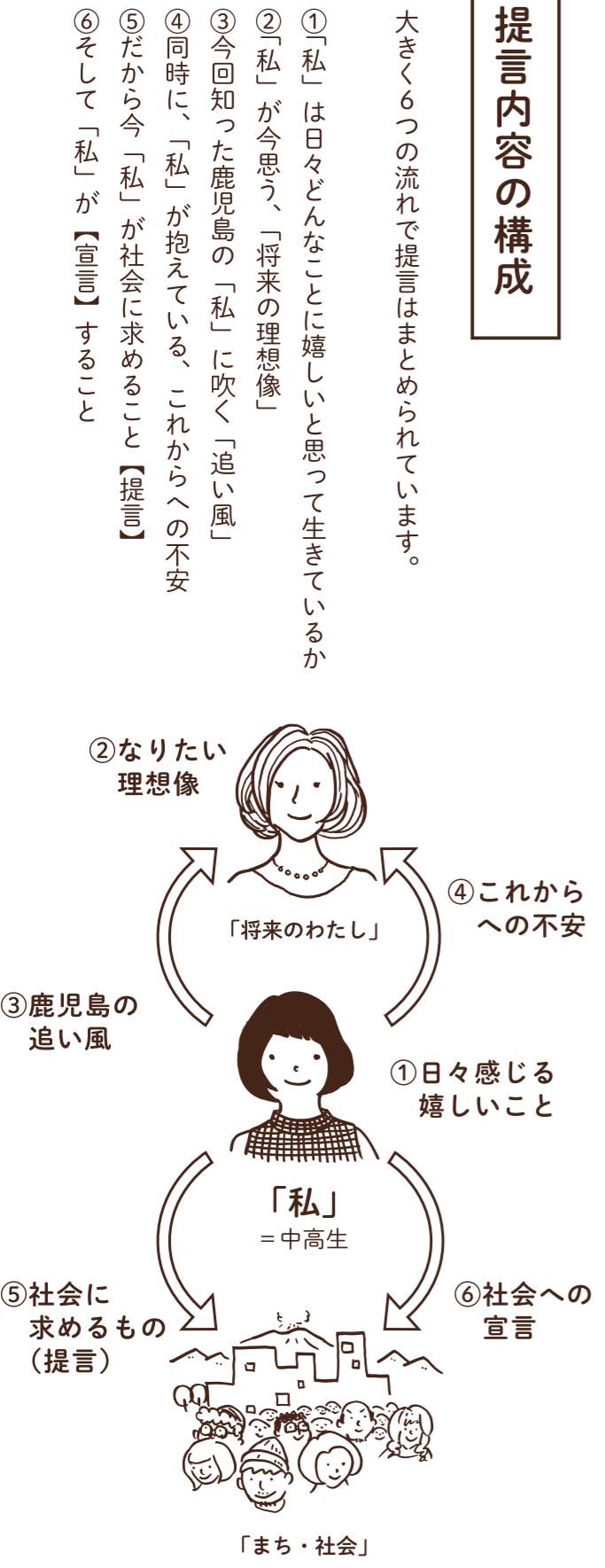
PROPOSAL



この本の提言について

この本の使い方

提言内容の構成



今を生きる、
中高生が求める
心の声を形にしました。

3日間で計21時間。中高生が、「社会が応えてくれる」と期待を持つて、想いを込めて形にした提言です。きっと、たくさん の発見や驚きがあると思います。

言語化するのも簡単ではない想いを、大学生スタッフと共に「まち・社会への『提言』と『宣言』」としてつくり上げました。

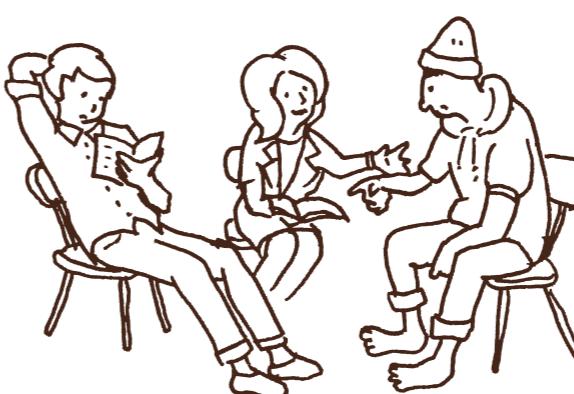
鹿児島で、様々な仕事をしている大人の話を間近で聞き、「このまちで豊かに生きること」の一端を感じました。素敵な大人の生き方を聞き、近い距離で話をすることで、「かごしまで豊かに生きていくこと」のイメージを抱きました。

中高生が発表した内容をできるだけ再現しようという願いから文章の形が正しい、というよりも、中高生が話していたこと、彼らが伝えたかったニュアンスを大事にしています。



中高生たちの声に耳を傾けて、自分にできることはなにかと考えてみる。

また、自分のまわりでできそうな人がいないか考えてみる。



一緒にできることや、社会ができるなどを考えてみる。

家族や、仲の良い友人と、同じ価値観を持つ仲間や、職場の仲間達と。



既にある取り組みに提案の要素を加えて発展させる。

そんなことが起きたら素敵だと思います。

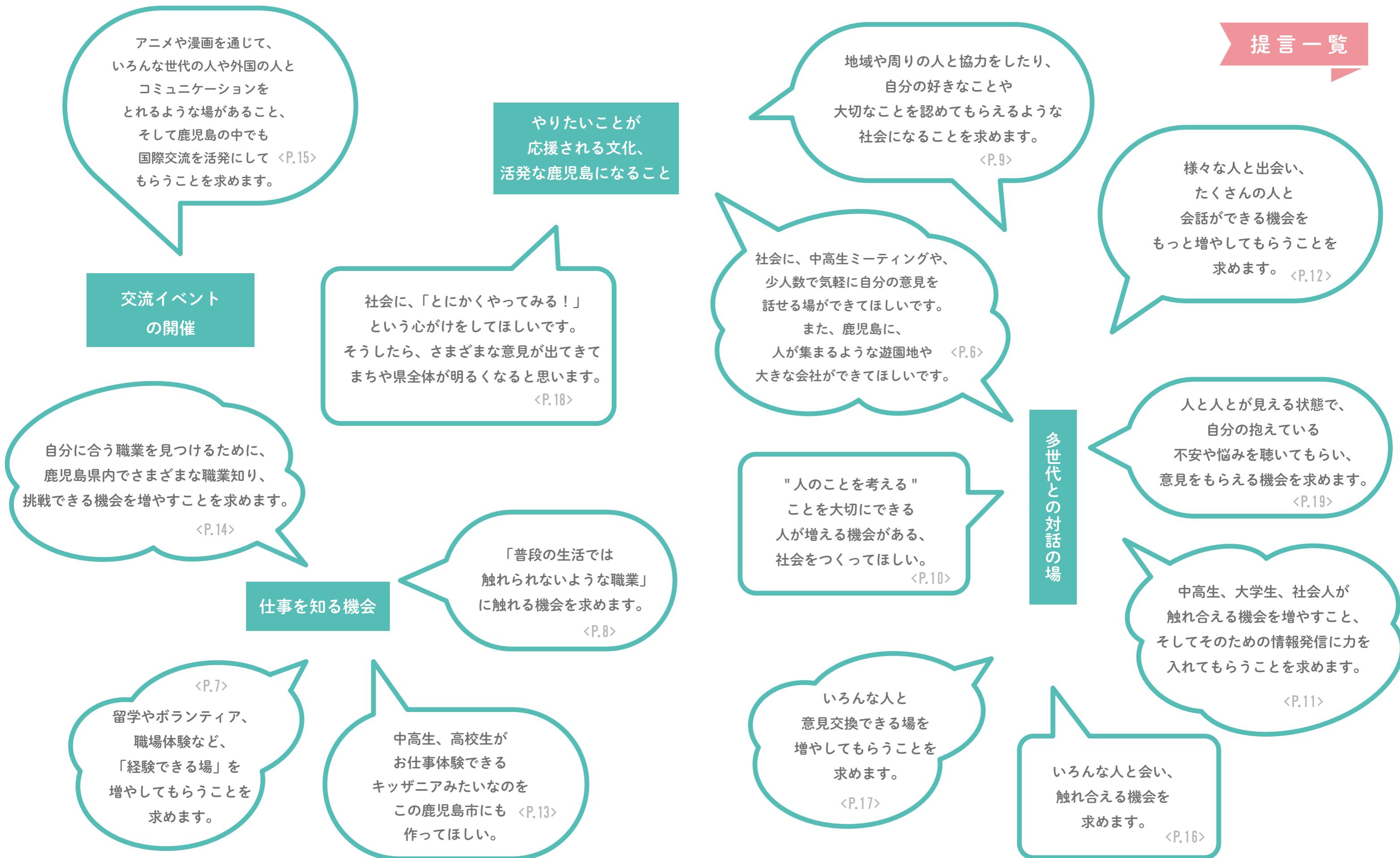
提言をアイデアの元にして新しい取り組みが生まれる。

1 じっくり一人で
読んでみよう。

2 みんなで
読んでみよう。

3 まずは
やってみよう。

提言一覧



社会に、今回のような中高生ミーティングや、少人数で気軽に自分の意見を話せる場ができるほしいです。

また、鹿児島に、人が集まるような遊園地や大きな会社がでけてほしいです。

今は少ししか意見を言えないけど、大きくなったら意見をたくさんの人々に言って、

鹿児島を盛り上げる一員になります。

そして今できることとして、行事への参加やごみ拾いをして

地域を活性化させることを宣言します。

ぼくは、自分の周りの人が幸せになつたときや、目標に向かって努力しているときに、幸せを感じます。

そんなぼくは、自分に正直にウソをつかない人になりたいです。これは、自分のやりたいことをやるということですが、わがままではなく、人に元気を与えることだと思います。

でもぼくは、このような提言書を書くことには積極的になれると思うけど、人と話すとき、自分の意見を言い出せないことがあります。また、鹿児島にいる人が少なくなるのも心配です。なのでぼくは、社会に、今回のような中高生ミーティングや、少人数で気軽に自分の意見を話せる場ができるほしいし、鹿児島

島に人が集まるような遊園地や大きな会社がでけてほしいです。幸い、今のぼくの周りには意見を言える場がわずかにあります。でも、その場の中心となつている人がもうすぐ東京に帰ってしまうので無くなってしまいます。だから、ぼくは、意見を人に言えなくなるのではと不安になります。

意見を言いやすい場が増えたら、たくさんの人の前でも自信を持てると思います。そして、今は少ししか意見を言えないけど、大きくなつたら意見をたくさん的人に言って、鹿児島を盛り上げる一員になることや、今できることとして、行事への参加やごみ拾いをして地域を活性化させることを宣言します。

提 言



高等学校の
女子生徒より

宣 言

将来留学し、その経験を中高生や大学生に堂々と話せるかつこいい大人になること。
そしてそういう場をつくることを宣言します。

留学やボランティア、職場体験など、「経験できる場」を増やしてもうひとつことを求めます。

提 言

私はご飯を食べるときとか、みんなと話しているときとか、たわいもない時間に楽しさを感じます。だけどそれ以上に、自分の意見に共感してもらったり、認められると喜びをもつと感じます。

私は今、経験豊富で話の引き出しがたくさんある大人に魅力を感じています。だから好きなことをやっている大人や、趣味を仕事にしていることってカッコイいことなんだなと思うので、そういうたカッコイい大人になります。それは、このイベントを通して強く感じたものであります。

私が追い風を感じるのは、社会人の方や大学生の方と話をしたときに、助言をしてもらったときには、不安を解消するためにも、



中学校の
男子生徒より

「普段の生活では

触れられないような職業

に触れる機会を求めます。

職業を自ら調べることと、
しっかりと勉強することを
宣言します。

高等学校の女子生徒より



宣言

提言

私が日々、喜びや嬉しさを感じることは2つあります。

一つめは、人との関わりです。学校とか、特に自分が素でいる相手がいることはとても幸せなことだと思います。

二つめは好きなことをしているときです。私はマンガが好きなんですが、マンガを読んでいたら現実逃避ができるので（笑）、一時的でも不安とか悩みを忘れることができるからです。

私が将来なりたい大人の理想像は「人生を楽しむ大人」です。理想の仕事に就いて、やるべき仕事をきちんとやって、休日は好きなマンガを読んだり好きなことをして、メリハリのある生活をしたいです。あとお茶会とかに出ると人間関係が広がると思って、よりよい人間関係をつくって充実した毎日を送りたいです。

私が抱えている不安は、人生を楽しく生きられるかどうかです。人生を楽しく生きたいなと思っているんですけど、さっき言つた職業も本当に好きかわからぬし、ほかにもっと好きになる職業があるかもしれません。それが見つけられるかが不安です。

私が社会に求めていたのは、「職業を知る機会がほしい」ということです。中学校のときは職場体験があつたんですけど、私は体験先がコンビニになつちゃつ・・・絶対アルバイトでやるよな、って仕事だったんです。私が興味ある自然関係の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

生と将来の夢が決まらないといふ話ををしていて、「自然環境に興味あるんですよ」と話をした

くれば、それを調べたら「あ、いいな」と思って、将来なりたい職業の候補の一つに入っています。

私の宣言は、職業を調べることと勉強をきつとすることです。相手から情報をもらって職業を知ることもできるんですけど、自分で調べて、調べている途中に他の関連のある仕事を知ることもできて、自分が知つている職業も増えるし、自分で調べた方が情報が集めやすいし、実際にかけて体験もできたりするので、自分で調べて将来の幅を広げていきたいです。

いいなと思う仕事はあるんですけど、でもまだ「絶対行きたい」と言えるくらい思えてないし、どういう方面に行きたいかも固まっていないから、今まで固まっていたいから、今のうちに基礎を固めて、本当に将来の夢が決まったときに、その方面的勉強がしつかりできるよう状態にしておきたいと思います。

験で知れたらいいのにと思つて。コンビニ以外の選択肢も、ペットショップとかスーパーくらいだつたので。だから、林業とかそういう普段見れないような職業を知る機会がほしいです。

私の宣言は、職業を調べることと勉強をきつとすることです。相手から情報をもらって職業を知ることもできるんですけど、自分で調べて、調べている途中に他の関連のある仕事を知ることもできて、自分が知つている職業も増えるし、自分で調べた方が情報が集めやすいし、実際にかけて体験もできたりするので、自分で調べて将来の幅を広げていきたいです。

いいなと思う仕事はあるんですけど、でもまだ「絶対行きたい」と言えるくらい思えてないし、どういう方面に行きたいかも固まつていなかつたから、今まで固まつていいから、今のうちに基礎を固めて、本当に将来の夢が決まつたときに、その方面的勉強がしつかりできるよう状態にしておきたいと思

中学校の
女子生徒より

提言

宣言

地域や周りの人と協力をしたり

自分の好きなことが大切にできる空気や、

自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような

空気のある社会を求めたいし、

私もつくっていきたいです。

いろいろな地域の人と協力をしたり
ボランティアやイベントなどに参加することで、
相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるよう
したいと思います。



私は友達と、学校のことや自分の家族のこと、自分のやりたいことについて話をするときや、ひとつのことをみんなでやり遂げられたときに嬉しさや喜びを感じます。

そんな私は、将来周りの人の存在を大切にして、ともに協力しながら自分の好きなこともどんどん追求していくような人になりたいと思っています。ただ、周りの人を大切にしきなくなることもあります。そ

うではなく、自分もちゃんと好きなことを大切にできるようになります。

鹿児島はイベントの一つひとつが充実していて、中高生でも気軽に参加できるものもあることが私がとつての追い風です。

安は、ともに協力をしていく上では、相手の気持ちを理解する必要がありますが、そのときに相手のすべてを理解できるかと同時にわたしが抱えている不安な私には、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

私が社会に求めるることは、地域や周りの人と協力をしたり自分の好きなことが大切にできる空気や、自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような空気がある社会にしたいです。

そんな私は、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

高校の女子生徒より

提言

宣言

地域や周りの人と協力をしたり

自分の好きなことが大切にできる空気や、

自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような

空気のある社会を求めたいし、

私もつくっていきたいです。

いろいろな地域の人と協力をしたり
ボランティアやイベントなどに参加することで、
相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるよう
したいと思います。

私は友達と、学校のことや自分の家族のこと、自分のやりたいことについて話をするときや、ひとつのことをみんなでやり遂げられたときに嬉しさや喜びを感じます。

そんな私は、将来周りの人の存在を大切にして、ともに協力しながら自分の好きなこともどんどん追求していくような人になりたいと思っています。ただ、周りの人を大切にしきなくなることもあります。そ

うではなく、自分もちゃんと好きなことを大切にできるようになります。

鹿児島はイベントの一つひとつが充実していて、中高生でも気軽に参加できるものもあることが私がとつての追い風です。

安は、ともに協力をしていく上では、相手の気持ちを理解する必要がありますが、そのときに相手のすべてを理解できるかと同時にわたしが抱えている不安な私には、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

私が社会に求めるることは、地域や周りの人と協力をしたり自分の好きなことが大切にできる空気や、自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような空気がある社会にしたいです。

そんな私は、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

高校の女子生徒より

提言

宣言

地域や周りの人と協力をしたり

自分の好きなことが大切にできる空気や、

自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような

空気のある社会を求めたいし、

私もつくっていきたいです。

いろいろな地域の人と協力をしたり
ボランティアやイベントなどに参加することで、
相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるよう
したいと思います。

私は友達と、学校のことや自分の家族のこと、自分のやりたいことについて話をするときや、ひとつのことをみんなでやり遂げられたときに嬉しさや喜びを感じます。

そんな私は、将来周りの人の存在を大切にして、ともに協力しながら自分の好きなこともどんどん追求していくような人になりたいと思っています。ただ、周りの人を大切にしきなくなることもあります。そ

うではなく、自分もちゃんと好きなことを大切にできるようになります。

鹿児島はイベントの一つひとつが充実していて、中高生でも気軽に参加できるものもあることが私がとつての追い風です。

安は、ともに協力をしていく上では、相手の気持ちを理解する必要がありますが、そのときに相手のすべてを理解できるかと同時にわたしが抱えている不安な私には、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

私が社会に求めるとは、地域や周りの人と協力をしたり自分の好きなことが大切にできる空気や、自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような空気がある社会にしたいです。

そんな私は、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

高校の女子生徒より

提言

宣言

地域や周りの人と協力をしたり

自分の好きなことが大切にできる空気や、

自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような

空気のある社会を求めたいし、

私もつくっていきたいです。

いろいろな地域の人と協力をしたり
ボランティアやイベントなどに参加することで、
相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるよう
したいと思います。

私は友達と、学校のことや自分の家族のこと、自分のやりたいことについて話をするときや、ひとつのことをみんなでやり遂げられたときに嬉しさや喜びを感じます。

そんな私は、将来周りの人の存在を大切にして、ともに協力しながら自分の好きなこともどんどん追求していくような人になりたいと思っています。ただ、周りの人を大切にしきなくなることもあります。そ

うではなく、自分もちゃんと好きなことを大切にできるようになります。

鹿児島はイベントの一つひとつが充実していて、中高生でも気軽に参加できるものもあることが私がとつての追い風です。

安は、ともに協力をしていく上では、相手の気持ちを理解する必要がありますが、そのときに相手のすべてを理解できるかと同時にわたしが抱えている不安な私には、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

私が社会に求めるとは、地域や周りの人と協力をしたり自分の好きなことが大切にできる空気や、自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような空気がある社会にしたいです。

そんな私は、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

高校の女子生徒より

提言

宣言

地域や周りの人と協力をしたり

自分の好きなことが大切にできる空気や、

自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような

空気のある社会を求めたいし、

私もつくっていきたいです。

いろいろな地域の人と協力をしたり
ボランティアやイベントなどに参加することで、
相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるよう
したいと思います。

私は友達と、学校のことや自分の家族のこと、自分のやりたいことについて話をするときや、ひとつのことをみんなでやり遂げられたときに嬉しさや喜びを感じます。

そんな私は、将来周りの人の存在を大切にして、ともに協力しながら自分の好きなこともどんどん追求していくような人になりたいと思っています。ただ、周りの人を大切にしきなくなることもあります。そ

うではなく、自分もちゃんと好きなことを大切にできるようになります。

鹿児島はイベントの一つひとつが充実していて、中高生でも気軽に参加できるものもあることが私がとつての追い風です。

安は、ともに協力をしていく上では、相手の気持ちを理解する必要がありますが、そのときに相手のすべてを理解できるかと同時にわたしが抱えている不安な私には、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

私が社会に求めるとは、地域や周りの人と協力をしたり自分の好きなことが大切にできる空気や、自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような空気がある社会にしたいです。

そんな私は、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

高校の女子生徒より

提言

宣言

地域や周りの人と協力をしたり

自分の好きなことが大切にできる空気や、

自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような

空気のある社会を求めたいし、

私もつくっていきたいです。

いろいろな地域の人と協力をしたり
ボランティアやイベントなどに参加することで、
相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるよう
したいと思います。

私は友達と、学校のことや自分の家族のこと、自分のやりたいことについて話をするときや、ひとつのことをみんなでやり遂げられたときに嬉しさや喜びを感じます。

そんな私は、将来周りの人の存在を大切にして、ともに協力しながら自分の好きなこともどんどん追求していくような人になりたいと思っています。ただ、周りの人を大切にしきなくなることもあります。そ

うではなく、自分もちゃんと好きなことを大切にできるようになります。

鹿児島はイベントの一つひとつが充実していて、中高生でも気軽に参加できるものもあることが私がとつての追い風です。

安は、ともに協力をしていく上では、相手の気持ちを理解する必要がありますが、そのときに相手のすべてを理解できるかと同時にわたしが抱えている不安な私には、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

私が社会に求めるとは、地域や周りの人と協力をしたり自分の好きなことが大切にできる空気や、自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような空気がある社会にしたいです。

そんな私は、いろいろな地域の人々が参加するボランティアやイベントなどに参加することで、相手の話に耳を傾け、しっかりと理解できるようにしたいと思

います。

高校の女子生徒より

提言

宣言

地域や周りの人と協力をしたり

自分の好きなことが大切にできる空気や、

自分の好きなことを馬鹿にされたりしないような

空気のある社会を求めたいし、

私もつくっていき

「“人のことを考へる”ことを

大切にできる人が増える機会がある」

社会をつくつてほしい。

提　言

社会に任せるのではなく、

自分ができることは自分でやること。

そして、これからの社会が

より良いものになるよう努力します。

宣　言

社会に任せるのではなく、

自分ができることは自分でやること。

そして、これからの社会が

より良いものになるよう努力します。

わたしにとつて嬉しいことは、人に喜んでもらうことなんですが、ごみ拾いやトイレ掃除などは「人に喜んでもらうためにやる」じやなくて「自分がやりたいからやる」と感じています。人のためにだけじゃなくて、やりたいからやる、つていうこともとても大切なことを思っています。

わたしは将来、人に優しく、相手のことを考えられるような、弱さをサポートして、寄り添えるような存在になりたいなと思います。将来に関しては、進んでいくといろんな壁にあたると思いますが、自分がやりたくて決めたから、怖じけずに進みた

いと思います。わたしのお姉ちゃんがそういう生き方をしていて、とてもかっこいいと思ったから、自分もこういう道を選びました。わたしに吹く追い風は、意見を自分たちで言えるような、意見が飛び交うようなこの場所があることです。そして、それぞれの人たちの意見から体験や経験を学んで、それがあとからさらに自分への追い風になると思ってます。それに加え、一番の追い風は、身近でずっと支えてくれる家族だと思います。わたしのお姉ちゃんは強い生き方をしていて、それを見習つて今生きてると思うので、お姉ちゃんの体験から学んでいることも

わたしの追い風です。
同時にわたしは、誰かのために何かをしたときに、された人にとってはそれが不都合なことかもしれない、ということが多いかもしれません。自分はいいことをやっていると思っていて、相手がそう思っていなければ、相手を傷つけることで終わってしまう。そんなわたしが今望んでいます。

社会は、やっぱり、原子力にして、自然にしても、世界のことについても、必ず関わるのは人間です。だから、その人たちがちゃんと他の人たちを考えることで、自分の欲望や意見だけがぶつかり合って、どう思つてます。すべてを社会に任すんじゃなくて、自分でも、少しでも努力をすることが大切だと思つてます。

第一には、「人のことを考へること」を大切にしてほしいと思っています。そんなわたしがやろうと思つてることは、それを社会だけに任すんじゃなくて、自分でも、努力して、これから社会をもつて、この社会に変えようと思つてます。

わたしにとつて嬉しいことは、人に喜んでもらうことなんですが、ごみ拾いやトイレ掃除などは「人に喜んでもらうためにやる」じやなくて「自分がやりたいからやる」と感じています。人のためにだけじゃなくて、やりたいからやる、つていうこともとても大切なことを思っています。

わたしは将来、人に優しく、相手のことを考えられるような、弱さをサポートして、寄り添えるような存在になりたいなと思います。将来に関しては、進んでいくといろんな壁にあたると思いますが、自分がやりたくて決めたから、怖じけずに進みた

いと思います。わたしのお姉ちゃんがそういう生き方をしていて、とてもかっこいいと思ったから、自分もこういう道を選びました。わたしに吹く追い風は、意見を自分たちで言えるような、意見が飛び交うようなこの場所があることです。そして、それぞれの人たちの意見から体験や経験を学んで、それがあとからさらに自分への追い風になると思ってます。それに加え、一番の追い風は、身近でずっと支えてくれる家族だと思います。わたしのお姉ちゃんは強い生き方をしていて、それを見習つて今生きてると思うので、お姉ちゃんの体験から学んでいることも

わたしの追い風です。
同時にわたしは、誰かのために何かをしたときに、された人にとってはそれが不都合なことかもしれない、ということが多いかもしれません。自分はいいことをやっていると思っていて、相手がそう思っていなければ、相手を傷つけることで終わってしまう。そんなわたしが今望んでいます。

社会は、やっぱり、原子力にして、自然にしても、世界のことについても、必ず関わるのは人間です。だから、その人たちがちゃんと他の人たちを考えることで、自分の欲望や意見だけがぶつかり合って、どう思つてます。すべてを社会に任すんじゃなくて、自分でも、少しでも努力をすることが大切だと思つてます。

第一には、「人のことを考へること」を大切にしてほしいと思っています。そんなわたしがやろうと思つてすることは、それを社会だけに任すんじゃなくて、自分でも、努力して、これから社会をもつて、この社会に変えようと思つてます。



中学校の
男子生徒より

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

僕は、日々どんなことに喜びや嬉しさを感じているかというと、友だちといっしょにいることが楽しいです。そこで、自分が楽しむのではなく、誰かと一緒に何かをすることに意味があると思っています。

僕は将来どんな大人になりたいかというと、信頼して信頼される関係を築けるような人になります。また誰かを巻き込むことができる人にもなりたいです。

僕に吹いている鹿児島の追い風は、このイベントを通して、いろんな人の考え方を知ることができたことです。また、このイベントを教えてくれた人、行動を起こしてくれた人が僕にとって追い風になっています。

は、このイベントで感じたことを他の人に伝えられるか不安です。思つても行動に移せないかもしれませんのが不安です。

今、僕が社会に求めていることは、このような機会や場所がもっと増えてほしい、ということです。そして、そういう機会や場所があることを知らないと参加できないので、僕たち中高生に届くように情報をもつと発信してほしいです。

そして僕が宣言することは、今は何かの行動を起こせなくて、も、イベントには参加します。そして自分がイベントを開催できる人がなり、鹿児島の魅力を伝えることができる季節ごとのイベントを開催することを宣言します。



中学校の
女子生徒より

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生、大学生、社会人が
触れ合える機会を増やすこと、
そしてそのための情報発信に
力を入れてもらうことを求めます。

宣　言

今すぐに行動に移せなくとも、
イベントへの参加を積極的に行い、
いつかは自分が開催できるようない
人になることを宣言します。

提　言

中高生



まず最初に、このミーティングを通していろいろな社会の方と話したり、提言・宣

がりを大切にできる大人になります。

つながっていたり、何かしらの接点があつたりするのだと感じます。

いま私が不安に思っていることは、進路が見つかるかどうか

ことだと思っています。

人とのつながりを大切にすることには、つながった人を大切にすることだと思っています。そのためには、頑張っている人を自分も心の底から応援することと、たくさんの人を幸せにすること、自分を支えてくれることなど、仲間を応援することなど、自分ができることはたくさんあります。

このイベントで知った、鹿児島の私が吹く追い風は、人ととのつながりが強いことだと思います。社会人の方々の話を聞いていたら、みなさんは鹿児島のことを愛していて、鹿児島を愛するということは、鹿児島に住んでいる人のこと

も愛しているということにならぬのではないかと思っています。

たまたま、そういう仲間たちから、「ありがとうございます」の一言で本当に嬉しくて幸せな気持ちになります。

私は将来、人と人とのつながりを大切にしたいと思います。

つながっていたり、何かしらの接点があつたりするのだと感じます。

提 言

提 言

たくさんの人と出会い、
たくさんの人と会話ができる機会を
もっと増やしてもらいたいことを
求めます。

人ととのつながりを大切にし、
何かを知ろうとする意欲を
常に持ちながら生きていくことを
宣言します。

やしてほしいと思います。中高生は、部活や勉強などとにかく毎日忙しいですが、それでもこういった場に参加したいと思っているので、気軽に参加できるイベントを増やしてほしいと思います。

私は、自分が楽しいと思うことをやつたり、小さな子どもたちの面倒を見ているときが一番幸せだと感じます。

私は社会人になつたら、自分の楽しいことを活かした仕事をすることが理想です。

今回中高生ミーティングを通して、鹿児島で働く大人の方とたくさん話をしました。みなさんとても楽しいことで、さまざまなお仕事をなされています。鹿児島にもこんなに私の知らない仕事があるのだなあと思いま

る。最後に私が宣言することは、人ととのつながりを大切にしたいということです。さまざまなイベントやボランティアに参加することで人と出会うことは、価値のあることであり、つながった人の分

だけ生き方や考え方を学ぶことができると思います。この出会いや学びが、最終的に自分の進路に対する考え方や世界が広げることにもつながるのではないかと考えています。

ただ誰かとつながって終わりではなく、会話をするときに自分が何を知りたいのかという意欲を持ち続けることがとても大切だと思います。そして、日々の生活中でも、何かを探そぐ、何かを知ろうと意識することで

より充実した生活ができるのではないかと思います。

そんな私は、人とのつながりを大切にして、何かを知ろうということを常に考えながら生きていくことを宣言します。

提 言

宣 言

中高生、高校生がお仕事体験できる
キッザニアみたいなのを
この鹿児島市にも作ってほしい。

私は、自分が楽しいと思うことをやつたり、小さな子どもたちの面倒を見ているときが一番幸せだと感じます。

私は社会人になつたら、自分の楽しいことを活かした仕事をすることが理想です。

今回中高生ミーティングを通して、鹿児島で働く大人の方とたくさん話をしました。みなさんとても楽しいことで、さまざまなお仕事をなされています。鹿児島にもこんなに私の知らない仕事があるのだなあと思いま

る。私は社会に求めることは、自分が興味のある分野や、そうでない分野でも、その仕事の中で楽しめることや興味を持つことを探して仕事を見たり聞いたり、体験できる場があることです。いつかアルバイトもしてみたいですね。

まだ自分の友達や学校では、中高生ミーティングのような場があることを知らない人が多いので、今度参加するときは「一緒に行かない?」

ではありません。みんなとも楽しくお仕事をなされていました。鹿児島にもこんなに私の知らない仕事があるのだなあと思いま



中学校の
女子生徒より

そうした機会があれば、積極的にいろいろなお仕事を体験し、
知っているお仕事の幅を広げ、自分の将来のことともっと
考えていくことを思っています。

やしてほしいと思います。中高生は、部活や勉強などとにかく毎日忙しいですが、それでもこういった場に参加したいと思っているので、気軽に

参加できるイベントを増やしてほしいと思います。

だけ生き方や考え方を学ぶことができると思います。この出会いや学びが、最終的に自分の進路に対する考え方や世界が広げることにもつながるのではないかと考えています。

ただ誰かとつながって終わりではなく、会話をするときに自分が何を知りたいのかという意欲を持ち続けることがとても大切だと思います。そして、日々の生活中でも、何かを探そぐ、何かを知ろうと意識することで

つながっていたり、何かしらの接点があつたりするのだと感じます。

私は、人とのつながりを大切にして、何かを知ろうと常に考えながら生きていくことを宣言します。

宣 言

宣 言

たくさんの人と会話ができる機会を
もっと増やしてもらいたいことを
宣言します。

やしてほしいと思います。中高生は、部活や勉強などとにかく毎日忙しいですが、それでもこういった場に参加したいと思っているので、気軽に

参加できるイベントを増やしてほしいと思います。

だけ生き方や考え方を学ぶことができると思います。この出会いや学びが、最終的に自分の進路に対する考え方や世界が広げることにもつながるのではないかと考えています。

つながっていたり、何かしらの接点があつたりするのだと感じます。

私は、人とのつながりを大切にして、何かを知ろうと常に考えながら生きていくことを宣言します。

つながっていたり、何かしらの接点があつたりするのだと感じます。

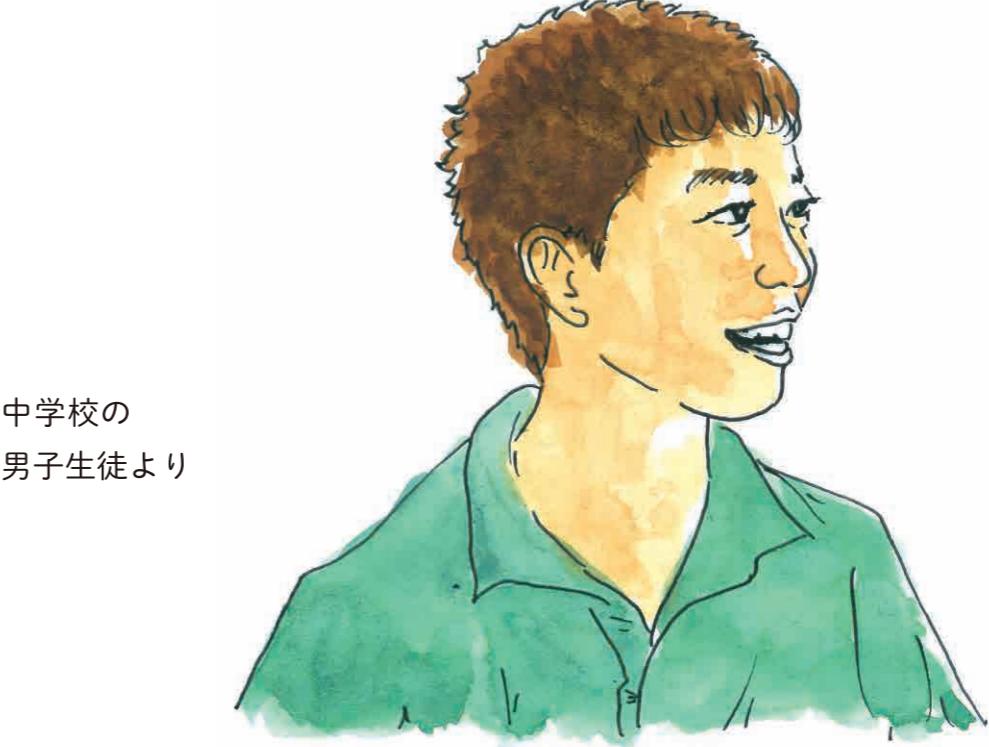
12

自分に合う職業を見つけるために、鹿児島県内でさまざまな職業を知り、挑戦できる機会を増やすことを求めます。

提言

そういった機会が増えたときに積極的に参加すること、協力・支援することを宣言します。

宣言



中学校の
男子生徒より

ぼくは日々、どんなことに喜びや嬉しさを感じているかというと、達成感を感じたときに、喜びや幸せを感じます。たとえば、ぼくはバスケットをして、「難しいけどいいプレイ」をするのを目標にして、最近の試合でそれができたときに達成感を感じました。

ぼくは将来、2日目のゲストで来てくれていたハマーさんのような大人になりたいと思いません。それは、大人になつても夢を追い続けるような、そういう姿勢が、すごくいいなって、かつていいなって思つて、自分も、大人になつても夢を忘れずにできたらいいなと思ったからです。ぼくに吹く追い風は、「方位磁針」だと思います。自分が、間違えた将来、悪い将来、失敗し

とえば、現実つていうのは、公務員だつたり学校の先生だつたり。非現実だつたら、政治家とか、芸能人とかオリンピックに出でる人たちとか、ほんの一握りの人しかできない仕事。その両方を、追いかけていけるかどうかというのがけつこう心配です。

今ぼくが社会に求めることは、国や県によって、就職試験や説明会があつたりなかつたり、そういう差があるところが気にかけてくれるっていう、そういう存在の人たちがいるので、それが追い風になるんじゃないかなって思いました。

ぼくが抱えているこれからへの不安は、現実と非現実的な夢を同時に進行していくことができるだろうかってことです。たとえば、現実つていうのは、公務員だつたり学校の先生だつたり。非現実だつたら、政治家とか、芸能人とかオリンピックに出でる人たちとか、ほんの一握りの人しかできない仕事。その両方を、追いかけていけるかどうかが決まるようになることを宣言します。



高等学校の
女子生徒より

提言

アニメや漫画を通じて、いろんな世代の人や、外国人の人とコミュニケーションをとれるような場があること、そして鹿児島の中でも国際交流を活発にしてもらうことを求めます。

宣言

アニメや漫画を通して、鹿児島にいる外国人や、中学生などと交流できる場をつくることを宣言します。

私は日々、アニメや漫画、外国などの異なる文化の話を聞くことや知ることに喜びや嬉しさを感じます。

将来は、好きなものの良さを他の人に伝え、相手の好きなことを受け入れられるような大人になりたいです。

今回、社会人の人たちがいまの仕事に就くまでにいろんな種類の好きなものを発信したり、吸収したりしながら自分の将来を決めていたということを知り、それは私にとっての追い風だと感じました。

私が抱えている不安は、中学校のときはアニメや漫画の話を

深く話せる友達がいましたが、高校進学によってその友達とは離れてしまい、今の高校ではそんな話ができる友達があまりいないということです。

そんな私が社会に求める提言は、アニメや漫画を通じていろんな世代の人や外国人とコミュニケーションをとることができます。鹿児島の中でも国際交流を活発にしてもらいたいです。

私と同じ思いを持った人たちが、アニメや漫画を通して鹿児島にいる外国人や留学生などと交流できる場をつくりたいです。

私は日々、アニメや漫画、外

国などの異なる文化の話を聞くことや知ることに喜びや嬉しさを感じます。

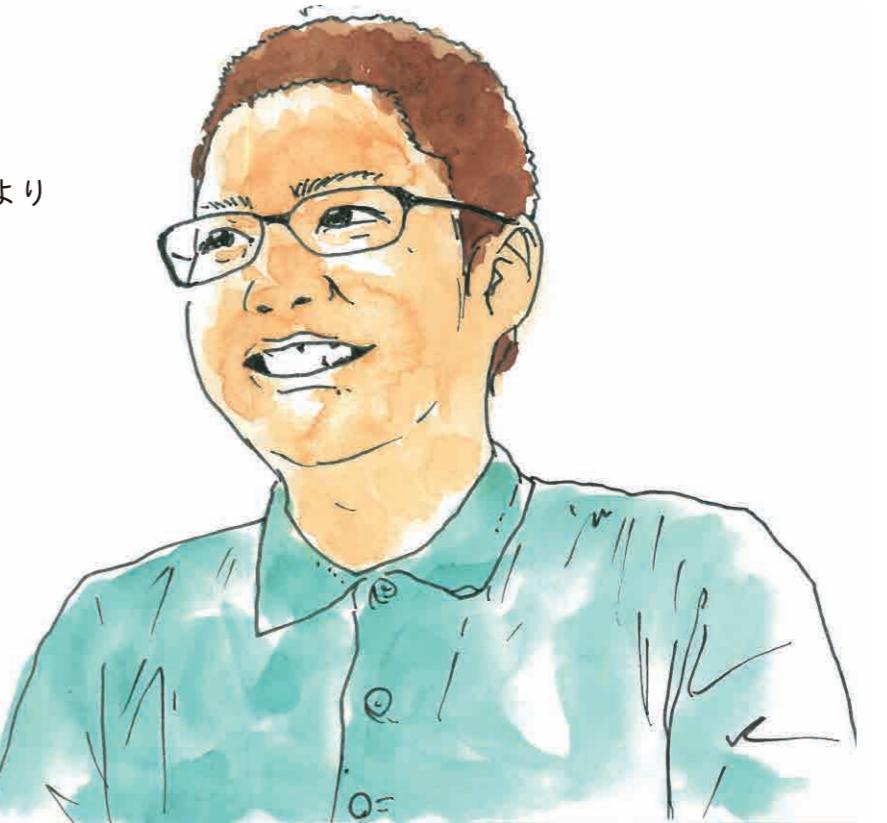
将来は、好きなものの良さを他の人に伝え、相手の好きなことを受け入れられるような大人になりたいです。

今回、社会人の人たちがいまの仕事に就くまでにいろんな種類の好きなものを発信したり、吸収したりしながら自分の将来を決めていたということを知り、それは私にとっての追い風だと感じました。

私が抱えている不安は、中学校のときはアニメや漫画の話を

提 言

「いろんな人と会い、触れ合える機会」
を求めます。



中学校の
男子生徒より

提 言

いろんな人と意見交換できる場を
増やしてもらうことを求めます。

宣 言

いろんな人と意見交換できる場に
積極的に参加して、
こういった場を知らない人たちに
広めていくことを宣言します。

僕は、誰かが「幸せだなあ」と思つ
ているときに自分も幸せに感じるこ
とがあります。そして幸せを共有で
きることによって、もっと嬉しくな
ります。

みんなと話し合う場を共有して、
それぞれの違う意見を自分に取り入
れたら、新しい自分を発見できるの
ではないかと思います。そうすれば、
みんなきっと喜んでくれるので、僕
は将来そういう場をつくる人に
なりたいです。

鹿児島の僕に吹く追い風は、いろ
んな人と話をし、意見を交換でき
る場があることです。今回この中高
生ミーティングに参加することで、
いろいろな人と話をして、意見を交換でき
る場があることです。

僕自身は、こういった場をつくる
ためにさまざまな機会に積極的に参
加して、知らない人たちにも広めて
いくことを宣言します。

僕自身が一歩前進することができた
からです。

それと同時にこれからへの不安
は、将来こういったイベントをつ
くるにあたって、本当につくること
ができるかどうか、またつくったと
してもうまくやっていくかどうか
ということです。

そんな僕が社会に求めることは、
いろんな人と意見交換できる場をい
ろんな場所や企業の中で増やしても
らうことです。

僕自身は、こういった場をつくる
ためにさまざまな機会に積極的に参
加して、知らない人たちにも広めて
いくことを宣言します。



中学校の
男子生徒より

宣 言

ボランティアや地域のイベントに
積極的に参加し、やりたいことは
すぐに行動していくことを宣言します。

ぼくは日々、やりたいことを満足
にやることができて、ほんとに満足
にやっているときが一番嬉しいと
思っています。そして友だちと一緒に
にやるとなるともっと嬉しくなりま
す。そして友だちがなにかを成し遂
げると、自分のことのように嬉しく
なります。

将来ぼくは、自分に正直でまつす
ぐな人であり、思いやりがある人に
なりたいです。まっすぐだと、こん
なふうに自分の意見がいいやすくな
って、人にも伝えやすくなると思
います。そして、人に言われた意見
も共感できるような人間になりたい
です。やさしくて、まっすぐな人に
なりたいです。

ぼくに吹いている追い風は、家族
の応援だと思います。やっぱり家族
の応援とか、親しい人の応援だと、
自分に元気や自信をくれると思いま
す。そして、自分の努力を理解して
くれる人も、やっぱり家族だと思
います。

同時にぼくが抱えているこれから
への不安は、将来何が起るか分か
らないことです。家族や兄弟が死ん
だり、仕事で予想していない出来事
があるかも知れなくて、ほんとに先
がわからないです。

ぼくが社会に求めることは、いろ
んな人と会ったり、触れ合ったりす
る機会がほしいです。人と触れ合
うことでコミュニケーション能力や、
他の力もつくと思います。出会いの
機会も、もつとあつたらしいと思
います。

ぼくが宣言することは、日々のボ
ランティアなど地域のイベントに、
積極的に、地域の一員として参加し
ていくことや、やりたいことをすぐ
に行動していくことです。あと、
人の出会いを大切にしながら、毎
日を笑って生きていきたいと思いま
す。犯罪など、やつちやいけないこ
とをしないで、逆に、自然を大切に
していきたいです。

社会に、「とにかくやってみる！」

という心がけをしてほしいです。

そうしたら、さまざまな意見が出てきて

まちや県全体が明るくなると思います。

提 言

とにかく挑戦してみることをモットーに
頑張っていき、失敗を恐れず、
積極的な人になります。

宣 言

僕は、「こうしたい」や「こうしてほしい」と思ったときに、すぐ実行できることに充実を感じます。

そんな僕は、将来積極的にイベントなどに参加する、行動力のある大人になります。自分の間違いを見つめなおし、すぐ改善ができるような生き方

をしていきたいです。
しかし、実際に行動を起こすまでにさまざまなことを考え、とても時間がかかることに不満や不安を感じます。

僕が社会に求めることは、「とにかくやってみる！」ということにかけをしてほしいということで、これによってまちや県が活



中学校の
男子生徒より

自分からなんでも話せるひとの存在や話してくれるひとの存在があることを大切にしたいと思います。
だから私の友達も、友達の友達も『私の友達』であること、人とのつながりをもつて生きていくことを宣言します。

宣 言



中学校の
女子生徒より

人と人との見える状態で、
自分の抱えている不安や悩みを聴いてもらい、
意見をもらえる機会を求めます。

提 言

私は、誰かとなしにかと一緒にやることができると幸せを感じます。自分がなんでも話せる相手がいることも、なんでも話してくれる人がいることも幸せです。一緒にいるだけで楽しいことが増えるのは良いことだと思います。

私は将来、自分のことも考えながら周りのために動くことができる人になりたいと思います。私が今まで人に助けてもらったことを恩返しできる人になります。私自身も、目標に向かって努力していくながら、人のことも考え方られるようにしたいです。

私にとっての追い風は、この中高生ミーティングを通してい

る人々の考え方聞くことで、自分の将来への不安が薄れたとすることです。人と話すこと、話しやすい場の大切さを実感できましたし、大人の実体験を聞く機会があることも良いことだと思います。

同時にいま抱えている不安は、やりたいことをやって迷惑をかけても、ちゃんとそれを自覚しているか、ということです。な

るべく迷惑をかけないようにして

たいと思いますが、かけてしま

うことはしようがないことだと

思うので、それを自覚している

かしていないかで、考え方や相

手への接し方も変わってくると

思うので、自覚することは大切

だと思います。

生きていくことを宣言します。

feature!!

提言宣言の発表の場で
起きたこと

提言の発表の形は
大学生スタッフも含めた
参加者の前で、提言を読み上げる
というのが基本的な発表の形でした。

自分の提言をより効果的に伝えたい！
という発表者の願いから
より工夫のこらした発表の場が生まれました。
その様子をお伝えします。

突然ですが、実際にこの場で
友達の友達は友達の原理を実行
したいと思います。椅子をまる
くしてもらつてもいいですか？（会
場のレイアウトを変更）

説明をします。ここに「○○の
友達」と書いてあるんですけど、
この「○○」には自分の名前を入
れてください。左にいる人に手を
差し伸べたら、その手を握って、
この言葉を言ってください。私た
ちのグループでやってみます。

「なつつきーの友達の（ゆりあんの
前に左手が出され、ゆりあんが、
ださい！
なつつきーと手をつなぎ、以下同
じ）ゆりあんの友達の、さきちゃん
の友達の、もりちゃんの友達の、
たかひさの友達の、なつつきーで
す。」

（全員でも同じようにぐるりと手が
つながっていく）

（全員の手がつながれた状態で）
（金員で合唱。ひとしきり余韻を感
じる）

「以上で終わります。」



1日目

社会人、大学生、中高生の 総勢60人での対話



中高生 14 名、社会人 26 名、大学生 17 名で、膝をつき合わせた対話を促進するツール「えんたくん」も活用して活気ある場になりました。

いよいよ中高生ミーティングが始まります。中高生は大学生とともに小さなグループに分かれ、「呼ばれない名前」を知り合い安心して過ごせる準備を整えていきます。

はじめに私たちから、「この場で大にしたいこと」「こんなことが起こってほしい」「みんなにこんな風に過ごしてほしい」という願いを伝えました。会場全体にも願いを尋ねたところ、中高生からも早速声が挙がり、3日間への期待が高まる時間でした。

続いて、緊張をほぐすとともに、つながりを強くする時間へ。人と関わること、助けを求め、相手も助けること。みんなで一つのことになり組むことの良さを実感できる時間になりました。

午後からは社会人を迎えての対話の場。彼らにも呼ばれたい名前を名乗つてもらい、全員が「自分を紹介する大きなシート」を胸につけて知り合いやすくなるようにしました。対話の中では、「生き方のこと」「日々の中でどんなことに満たされ、どんなことに満たされない想いがあるか」「これからにどんなことを願っているか」といった問い合わせました。年齢が大きく異なるメンバーでの対話でしたが、相互に学びや発見があり、大きな充実感のある時間となりました。

9:40	会場に集合
10:00	開始・導入 この場に願うこと 緊張をほぐし、チームをつくる時間
12:00	お昼休憩
13:00	中高生、社会人、大学生による 対話の場
16:00	ハーベスト（収穫） 対話の時間での気づきを共有する
17:00	1日目おつかれさまでした！

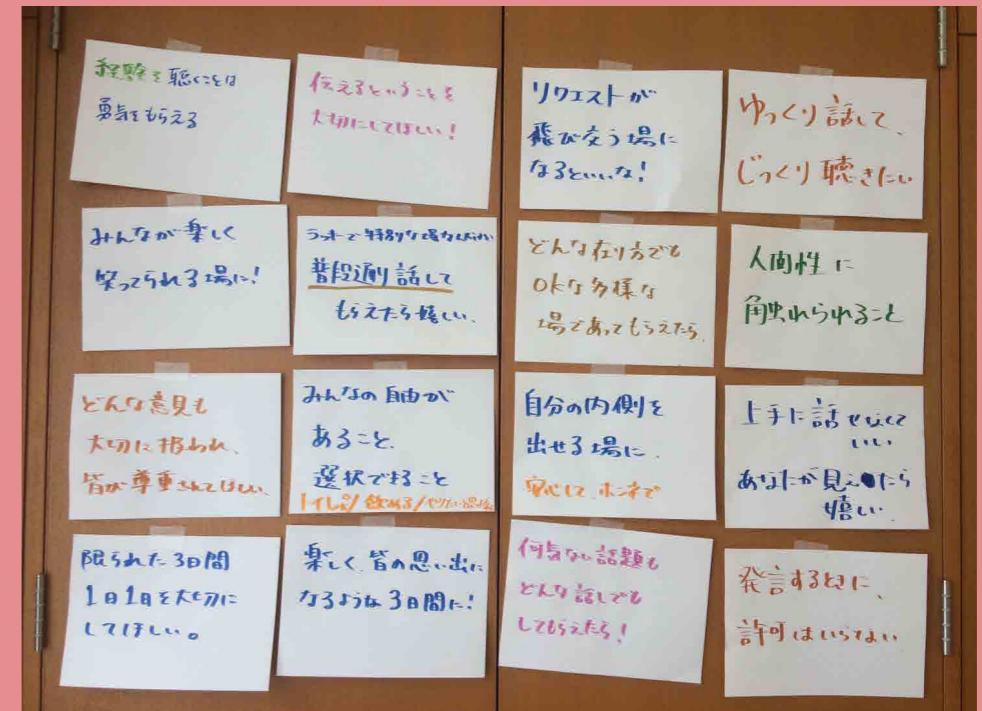


まずは緊張をほぐし、仲良くなる時間。全員で協力しなければクリアできないゲームを通して、「あなたは、まわりの人とどんな関係性でいられるかを願っているだろう?」という問い合わせて話し合うことで、この3日間の中で大切にしたい関わり方を共有して始めました。

この3日間で起こったこと

3DAYS
Digest

「この場はこんな風であってほしい」という願いをいくつも共有して、進めていきました。



3 日 目

3日目の午後はいよいよ発表。それに向けた準備から始まりました。「作文をする」というより、対話する中で自分の中から出てきたものをもとに「なにを伝えたいか」をひとつひとつ文字にしていくようなプロセスでした。さらに、伝える工夫として紙芝居のようなものをつくったり、道具を用意する人も。発表への想いと期待が感じられる空間でした。

発表は、「今まで一番楽しめた発表」にしてもらえるよう、「いい発表の時間は会場全体でつくられる」というイメージを共有して始めました。発表前に応援の声が飛んだり、楽器を鳴らして盛り上げたり、「会場全体がこの発表者を歓迎している」空気の中で発表をすることができました。発表のあとは、全員から「感じた



「今までで一番楽しめた発表にしてほしい」という願いもこめ、十分に準備をして発表へ。あたたかい会場の雰囲気もあり、堂々と楽しめる発表になりました。

ことや応援のメッセージとしてふせんに書いたものをもらいます。鈴なりになつたメッセージを大切そうに持つて、る姿が印象的でした。

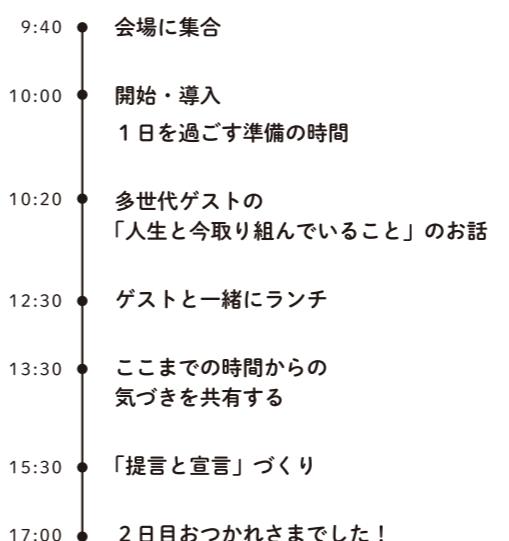
最後の時間。3日間を振り返り、自分にどんな変化があつたかを考えるとともに、グループの仲間への感謝を伝え合う時間をつくりました。全員で「今感じていること」をシェアする時間では、話したい人が自分で話し始め、それがどんどんリレーしていく場になりました。1日目に緊張して集まつた面々が、最後にはこんな場をつくれたことを、とても感慨深く思いました。こうして、時間が有限であることを見嘆きながら、3日間の中高生ミーティングは幕を閉じました。



発表後は、その場の全員から「感じたことや応援のメッセージ」をもらいます。自分の発表で人がどんなことを感じたのかを知る機会であり、力強い肯定のメッセージを受け取ることになりました。

2 日 目

多世代のステキな大人の
生き方を聴き、
提言書をつくり始める



20～60代の5名のゲスト。想いのこもったお話を、これまでの人生であった大きな出来事も書いてもらい、中高生にたくさんのものが伝わるようにしました。

「人生と今取り組んでいること」のお話から始まりました。20～60代の5人に話してもらうことで、「鹿児島で生きていいくこと」がイメージできるようにしました。前に立つて堂々と話をしてもらうことで、「かつこいい大像」として中高生に届いたようでした。その後、ランチと一緒に食べることで身近な存在としても感じることができ、「自分はどんな経験をしたいだろ？」と考える時間をつくりました。この時間の振り返りとして、「自分がやったことはあるのかのためにやりたいことはあるだろうか？」も話し合い、提言と宣言づくりに進みます。



心からの提言と宣言をつくるため、ここでも対話のプロセスをとりました。中高生と大学生がペアで探求します。はじめから紙に書き出す場合より、イキイキとした内容になると感じます。



株式会社
ecommit
濱津 綾乃さん
cafemomo
山口 ひとみさん
有限会社
すべ産業
須部 貴之さん
NPO 法人
頬娃おこそ会
加藤 潤さん
志學館中高等部
教員
梶原 末廣さん

パネルトークゲストの
社会人の皆さん

「鹿児島で生きる20~50代の素敵な大人」代表として、「かごしまで豊かに生きていくこと」のイメージ像となっていました。



鹿児島大学
前田 祐加さん
鹿児島大学
田所 貴秀さん
鹿児島国際大学
木本 貴久さん
鹿児島国際大学
大野 ゆりあさん

3日間ともに寄り添ってくれた
大学生スタッフ

対話の場の経験を積んだ頼もしいメンバーが、3日間中高生と向き合い続けてくれました。



鹿児島国際大学
松吉 みさとさん
志學館大学
中美南穂さん
鹿児島純心女子大学
草留 早紀子さん
鹿児島大学
大橋 奈月さん



鹿児島国際大学
宮内 諒さん
鹿児島女子短期大学
中原 咲樹さん
鹿児島国際大学
小西 里奈さん
鹿児島大学
甲斐 友也さん
鹿児島国際大学
植田 陽亮さん



鹿児島大学
若松 香澄さん
鹿児島大学
藤本 佳奈枝さん
鹿児島純心女子大学
高橋 愛梨さん
鹿児島国際大学
金丸 侑樹さん
鹿児島国際大学
内田 成美さん



対話の場に参加してくれた
社会人の皆さん

鹿児島市
市民協働課
圓若正行さん
暮らしの畑屋
のと
代表
橋口創也さん
ニューハウス産業
(不動産業)
白瀬亮さん
暮らしの畑屋
のと
代表
大川洋人さん
株式会社
富士通鹿児島
インフォネット
有馬実世さん
純心女子高等学校
教員

株式会社
富士通鹿児島
インフォネット
宮城朋代さん
暮らしの畑屋
のと
助産師
橋口舞さん
鹿児島中央助産院
助産師
竹内裕子さん
暮らしの畑屋
のと
助産師
大村瑛さん
NPO法人
桜島ミュージアム
建築施工事務所
スペースユニット
井浦彩花さん
純心女子高等学校
教員

医師
横山大輔さん
看護師
古市妙さん
寺師大策さん
寺師大策さん
鹿児島中央助産院
助産師
北村愛さん
主婦
料理愛好家
石川咲子さん
純心女子高等学校
教員

コーチング
コーチ
堀美幸さん
クリエイター見習い
街のごみ拾いヒーロー^{おむすび}
むすび担当
(アプリ開発)
前野洋一郎さん
野中翔太さん
NPO法人
桜島ミュージアム
NPO法人
フードバンク
鹿児島
久木田智美さん
石山祥子さん
純心女子高等学校
教員

株式会社
下堂園
鮫島歩さん
託児所
Ring Link
(りんりん)
井上恵美さん
おむすび
むすび担当
(アプリ開発)
前野洋一郎さん
野中翔太さん
鮫島歩さん
株式会社
下堂園
鮫島歩さん
託児所
Ring Link
(りんりん)
井上恵美さん

「鹿児島のまちの中でイキイキと仕事をしている大人」代表として、「このまちで豊かに生きること」を伝えていただきました。

私たちの想い



きききくばり 代表
石川 世太



コトカキ屋 代表
小笠 雄一郎



ルシェルマルシェ 主宰
飯福 あすみ

この機会に、私たちや関わつた方々がどれほど心を動かされたかは、まさに「筆舌に尽くしがたい」ことだと感じています。それでも表現することに少しだけ試みたいと思いまますし、今回起きたことをおいに祝うためにも書き記してみます。

念が強くて他者の意見を受け入れようとしない人もいました。それが3日間を経て、開放的な表情で楽しみながら直劍に取り組み、自分の率直な思いを込めた提言を充実させたまま、気持ちで発表することができていました。

社会人の方は、自分のこと話をすことと、中高生のことに興味を持つて聴くことの両方を十二分に楽しんで過ごしてもらえたようを感じます。

今回、中高生が実際に社会に触れるひとつつの方法として、「この3日間だけの、理想的な関わり方がある小さな社会

という世界観を分かち合えていたように感じ、とても感謝しています。

大学生スタッフは、中高生と一緒に経験は少ない人たちでしたが、対話の機会には触れており、「何を大切にして場をつくるか」をしつかりと分かち合ったチームで臨みました。この3日間は家に帰つてからも中高生のことばかり考へて必死に過ごし、最後には向き合つた相手の大きな変化に立ち会いました。「生まれて初めてこんなに感動した」と声があがる、とても充実した運営でした。

今回の機会には、自分の中にあるものを十分に表現し、相手の中にあるものも十分に受け取る「対話の文化」が通奏低音にしたいと思つていました。

準備段階では、社会人スタッフの話し合い 자체も対話になつていることを大切にしました。意味を十分に実感しながら進めるために、「この事業は自分の今やこれからに

とつてどんな意味を持つのか？」を折々に話しました。各人の状態に配慮してつながりを感じながら進めるために、「今満たされていること、満たされていないことは？」「今自分がどうなっているのか？」を打ち合わせのたびに時間をとつて話しました。

大学生スタッフには、「こうやってほしい」というマニユアルを配るかわりに、「対話とは?」「どんな場にしたい?」「中高生にどんなことを持ち帰つてもらいたい?」を対話とする機会をつくり、ともに探求しました。

当日に「対話の文化」を中心とした議論や願いが十分に伝わるように全力を尽くしました。「どうしてこれをやるのか?」という“必然性”はありありと伝わるものだと思い、予定通りの流れよりも自分たちが本当にその場に必要だと感じることの方を選びました。その「必要だと感じること」が中高生から挙がつてくるこ

もあり、彼らも流れをつくる仲間になっていました。3日目の最後の時間、「今感じていること」を全体に對して伝える機会は、手も挙がらずにみんなが語り出し、促さなくて済みどんどん続いていく流れが生まれ、それは大きな喜びでした。

自分が尊重されながら、楽しき、学びの質、生まれててくる提言の質をとても高いものにすることに挑戦して、それが実ったような感覚でした。

関わってくれた人の多くが心を動かされ、「こうした機会をまたほしい」と伝えてくれました。中高生の中には「自分もこういう場をつくる人になりたい」という人もいました。そして、こうした場をつくることで、私たちが描いていた理想の社会に向かえるとも感じます。

私たちはこれからも、今のような場を、探求しながら開いていくことを宣言したいと思います。

主催した鹿児島市役所の
市民協働課としての想い

鹿児島市子どもミーティング開催事業は、平成22年度から行つて いる事業で、今回で7回目の開催となりました。次世代を担う子ども達が、本市のまちづくりについて、夢やアイデアを出し合い、意見交換を行い、その意見を市政運営の参考とすることで、若い世代の市民参画の推進を図ることを目的としています。

また本事業は、民間の知識やノウハウを活用するため、市民活動団体に委託しており、企画や運営については受託団体と一緒になつて協議・検討する等、行政と市民活動団体が協働して実施しています。

今年は公職選挙法等の一部改正により、選挙権年齢が18歳へ引き下がられ、中高生の

りへの関心が高まる中で、子どもミーティングの開催となりました。

ゲストとして参加して頂いた社会人の皆さんや、サポートしてくれた大学生との楽しくかつ真剣な対話の場は、まちの未来や自分自身の将来について、深く考えるきっかけになつたとものと思います。

中高生の皆さんは、この3日間を通して感じたことや得られたことを忘れず、まちづくりや地域活動に積極的に参加してほしいと思います。

また、市としても中高生の想いをしつかりと受けとめ、協働によるまちづくりを一層推進していくないと考えていいます。

開催概要

《平成 28 年度 鹿児島市 子どもミーティング開催事業》

◇名 称：かごしま『まちづくり』中高生ミーティング

◇参加者：
鹿児島市内在住の中高生 14 名
(男子・女子割合) 男子 6 名 女子 8 名
(中学・高校割合) 中学生 10 名 高校生 4 名

◇日 時：
8月7日(日)10:00-17:00 社会人、大学生、中高生の総勢60人での対話。
8月8日(月)10:00-17:00 多世代のステキな大人の生き方を聴き、提言書をつくり始める
8月9日(火)10:00-17:00 社会への「提言と宣言」をつくり上げ、楽しんで発表する

◇場所：
一日目、二日目 (財)鹿児島県青年会館
艸舎2F 大研修室
三日目 鹿児島市城西公民館 2F 研修室

◇講 師・コーディネーター：
石川 世太（きききくぱり 代表）
小笠 雄一郎（コトカキ屋 代表）
飯福 あすみ（ルシェルマルシェ 主宰）

◇目的：若い世代の市民参画を推進するとともに、その意見を市政運営の参考にしていくこと。
◇対象：公募により参加の、鹿児島市内在住、または鹿児島市内に通学する中高生

【主 催】鹿児島市 市民協働課
【実施・運営】特定非営利活動法人 SocialBrains（ソーシャルブレインズ）